

単元名 「いきものとなかよし」

第1学年 内容(7) 「動植物の飼育・栽培」

◆本実践の概要

- ・前時までの虫の世話について、気付いたことを児童が話し合ったり発表したりする中で、似ているところ、違うところなどを教師が問い、気付きを関連させ、生き物についての学びを深める活動を設定した。
- ・児童が「もっと知りたい」と思ったことを、自分で方法を選んで自由に調べる「個別学習」の時間を設定した。虫をよく見て動きを調べる児童、これまでの観察カードを見直す児童、友達と話し合う児童、使いたい本を見て調べる児童、ICTを活用して虫の動画や静止画を検索して調べる児童など、自分の思いや願いのもとに活動することができた。

1 単元の目標

身近な生き物を探したり、継続的に飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所や変化、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとすることができるようにする。

2 単元の評価規準

単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
小単元における評価規準	1	①校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。	①これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。	
	2	②虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。	②餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。	①生き物の存在について、自ら進んで関心をもち、親しみをもって生き物と関わっていかうとしている。 ②虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからも生き物を大切にしようとしている。
	3	③小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。		③小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

3 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」から単元が構成されている。身近にいる生き物を見つけ、それらが育つ場所や成長の様子に目を向け、実際に飼育していく過程で、児童に様々な気付きが生まれると考えた。

これまで、児童は、夏に生き物を探す活動を行った。校庭に行き、木の幹や葉をじっくり観察したり、木の近くや石の下で生き物を見つけたり、生き物と親しんできた。休み時間などに校庭へ出た時にも、蝶の幼虫や

かえるを見つけて、「先生、校庭にいたよ。」と嬉しそうに報告してくる児童がいた。生き物へ関心のある児童は多くいると感じる。

本単元の「いきものとなかよし」では、これまでの経験をもとに、学校周辺にいる生き物を想起し、さまざまな種類の生き物を探して捕まえる活動に取り組む。学校内には草木や畑があるものの、生き物は少ない傾向がある。そのため、校庭だけではなく、学校の近くの公園にも足を運ぶ。さらに、実際に捕まえた生き物を継続的に飼育する活動に取り組む。生き物に対する継続的な世話や関わりを通して、生き物も自分たちと同じように命があることや成長していることに気付くとともに、生き物を大切にできるようにすることを目指していく。

指導にあたっては、児童の「見つけたい」「捕まえたい」「飼ってみたい」「もっと知りたい」などの思いや願いを大切にしながら学習を進めていきたい。そのために、校庭や公園で生き物を探したり、飼育するために生き物の育て方について調べたり、生き物を継続して飼ったりする活動を取り入れていく。生き物を探す活動や飼育する活動では、1人1台端末を使って生き物の様子を写真や動画に取り、自分が見つけた発見を友達と共有できるようにしたい。また、生き物を飼育して気付いたことを友達と共有したり、同じ生き物を飼育している友達の発見と比べたり交流しながら、さらに個人の気付きを促したい。本単元の学習を通して、飼育活動の中で、生き物に合わせた世話ができるようになったことや、友達と協力して取り組むことの大切さに気付かせていきたい。

4 指導と評価の計画

小単元名 (全 10 時間)	学習活動	評価 規準	評価方法・備考
1むしをさがそう (4)	<ul style="list-style-type: none"> 夏に校庭に出かけて虫を探したり、観察したりしたことをふり返り、虫を捕まえる計画を立てる。 校庭や公園で虫を探したり捕まえたりする。 捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを観察カードにかき、今後の育て方について話し合う。 	知① 思①	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察・発言分析 ワークシートの分析
2むしとなかよくなるう (5) (本時 8/10)	<ul style="list-style-type: none"> より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 朝の時間や休み時間などを使って、餌の用意をしたり、すみかを整えたりして、虫の世話をする。 飼育して気付いたことを観察カードにかき、友達と伝え合う。 虫をこれからどうするのか話し合い、元いた場所(捕まえた場所)に帰す。 	思② 知② 態① 態②	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察・発言分析 ワークシートの分析 行動観察・発言分析 ふりかえりの記述の分析
3みんなでどうぶつをかおう (1)	<ul style="list-style-type: none"> 学校で飼育しているモルモットを観察する。 	知③ 態③	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 行動観察・発言分析

5 本時の授業（第8時）

(1) 本時の目標



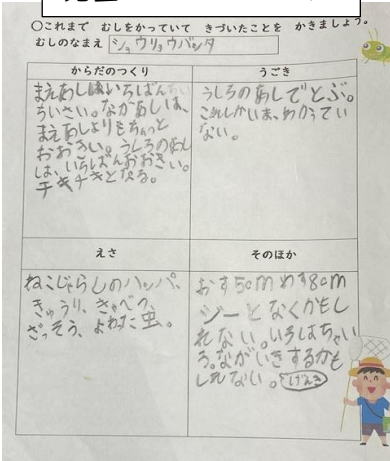
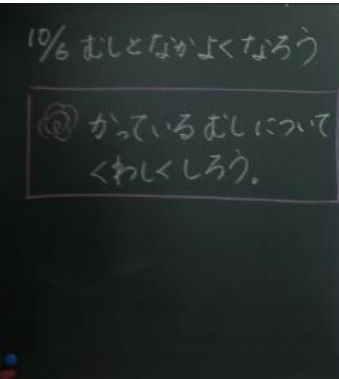

自ら生き物の存在に関心を持ち、虫に合わせた世話をする中で、虫が変化していることや、生命をもっていることに気付き、親しみをもって生き物と関わっていくことができる。

(2) 本時の評価規準

生き物の存在について、自ら進んで関心を持ち、親しみをもって生き物と関わっていかようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度①】(行動観察・発言分析)

(3) 本時の実際

過程	主な学習活動と児童の反応	評価と配慮事項																																								
つかむ	<p>1 課題把握</p> <p>○これまで虫を飼っていて気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタ→ジャンプする。 ・カマキリ→足が長い。 ・えさはきゅうりを食べる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かっているむしについて くわしくしろ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビ ・1人1台端末 (教師用・児童用) ・ワークシート <p>※授業前に Google クラウドに入るようにしておく。</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #e0ffe0;"> <p>自分で撮った虫の写真や動画を見て気付いたことを、前時までにワークシートへ記入させた。本時は、その気付きを見直し、何人が発表させた。</p> </div>																																								
広げる	<p>2 課題解決(伝え合い・気付きの共有)</p> <p>○虫の世話をして気付いたことを話し合う。(からだのつくり、うごき、えさ、そのほか)</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="width: 75%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>児童のワークシート</p> </div>  </div> </div> <p>○虫の様子で気付いたことを発表する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <table border="1" style="width: 65%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>むしのなまえ</th> <th>からだのつくり</th> <th>うごき</th> <th>えさ</th> <th>そのほか</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バッタ</td> <td>あしはながながい</td> <td>うしろあしでジャンプする</td> <td>ねこじらしのほし</td> <td>ちんちんとなくしらは きまぐち</td> </tr> <tr> <td>カマキリ</td> <td>かおがごんかく</td> <td>カマを上にあか</td> <td>ウインター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コオロギ</td> <td>あしがとがてい</td> <td>ジャンプ</td> <td>きゅうり</td> <td>かごの上</td> </tr> <tr> <td>キリギリス</td> <td>どうろうこしが</td> <td>おしりを上にする</td> <td>キャベツ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ちょう</td> <td>はねがある</td> <td>とぶ</td> <td>おひのき</td> <td></td> </tr> <tr> <td>てんとうむし</td> <td>まぶた</td> <td>とぶ</td> <td>み</td> <td>てんとうむし</td> </tr> <tr> <td>とんぼ</td> <td>ほしながい</td> <td></td> <td>あぶらむし</td> <td>てんとうむし</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  </div>	むしのなまえ	からだのつくり	うごき	えさ	そのほか	バッタ	あしはながながい	うしろあしでジャンプする	ねこじらしのほし	ちんちんとなくしらは きまぐち	カマキリ	かおがごんかく	カマを上にあか	ウインター		コオロギ	あしがとがてい	ジャンプ	きゅうり	かごの上	キリギリス	どうろうこしが	おしりを上にする	キャベツ		ちょう	はねがある	とぶ	おひのき		てんとうむし	まぶた	とぶ	み	てんとうむし	とんぼ	ほしながい		あぶらむし	てんとうむし	<p>※ICT 端末の基本操作や使用上の留意点は事前に指導しておく。</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #e0ffe0;"> <p>同じ虫を飼育していた友達と話し合い、さまざまな気付きに触れさせた。また、話したことを全体で共有した。</p> </div>
むしのなまえ	からだのつくり	うごき	えさ	そのほか																																						
バッタ	あしはながながい	うしろあしでジャンプする	ねこじらしのほし	ちんちんとなくしらは きまぐち																																						
カマキリ	かおがごんかく	カマを上にあか	ウインター																																							
コオロギ	あしがとがてい	ジャンプ	きゅうり	かごの上																																						
キリギリス	どうろうこしが	おしりを上にする	キャベツ																																							
ちょう	はねがある	とぶ	おひのき																																							
てんとうむし	まぶた	とぶ	み	てんとうむし																																						
とんぼ	ほしながい		あぶらむし	てんとうむし																																						

○虫の様子を再度観察したり、写真や動画、本を見て振り返ったりする。

自分の選んだ方法で個別学習



個人で再度観察をしたり、調べ学習をしたりすることで、気づきを深めさせた。気付いたことやわかったことはワークシートへ記入させ、残すようにした。

本で調べ学習



Chromebookで動画や静止画を振り返る



虫の観察



児童のワークシート

○ほんで しらべたことや わかったことを かきましょう。

あのさきがとげとげしてさきがうまい
うになっている。しろあひねがいたの
とひかたはしろあでジャンプします。
8時から11時までは、ほんしつ、なんせい
しゅうとうにいるはたもさきりすとおなじ
てあし手をなめる。

ふ
り
か
え
る

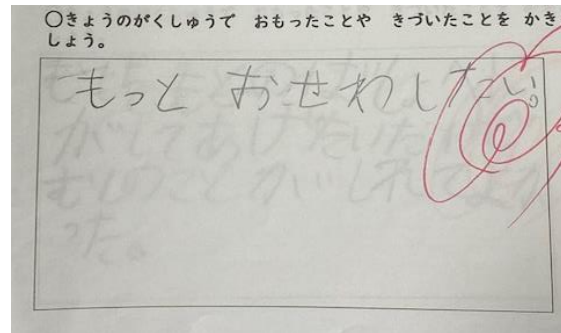
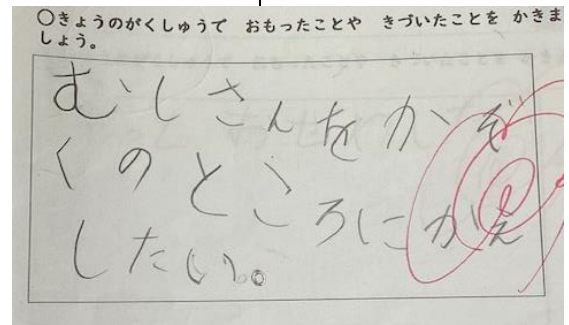
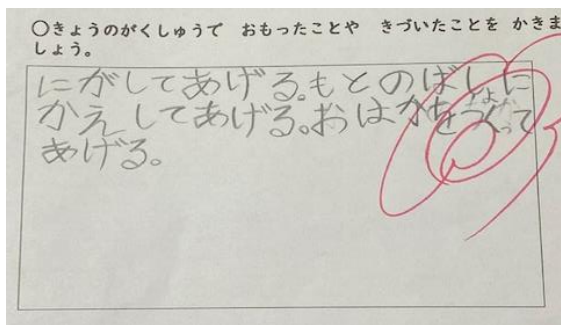
3 振り返り

○自分の見つけた生き物を振り返ったり、友だちと世話をしたことを振り返ったりすることで、身近にいる生き物を確認し、これから生き物とどう関わっていきたいか思いや願いをもつ。

- ・虫にくわしくなった。
- ・虫をもっと見つけたい。
- ・これからも大切にしたい。

態①
(行動観察・発言分析)

児童のワークシート



本時の学習で気付いたことや今の自分の気持ちを書くように伝えた。
虫をもと元いた場所へ逃がしてあげたいという気持ちを持つ児童も見られた。

6 実践を振り返って

本事例は、飼っている虫について「知りたい」「もっと調べたい」「友達の虫についても知りたい」などの児童の思いや願いのもと、活動を展開した実践である。

自分の虫をよく観察したり、本を見て調べたり、これまでの学習カードを見直したり、1人1台端末で前時までの動画や静止画で虫の様子を調べたりなど、方法を自分たちで選んで個別学習をした。また、本時においては、同じ種類の虫を世話した児童同士でグループ活動を行った。話し合いや個別学習の中で、世話をした時の自分の気づきをグループの中で教えたり、友達に聞いたりする児童もいた。

授業では、前時までの気づきや、本時の学習後の気づきについて全体場で発表し、「似ているところはどこか」「違うところはどこか」などと問い、個別の気づきを共有すると共に、気づきを関連させるようにした。また、振り返りは、これからの児童の思いや願いを問うことで、これから生き物とどう関わっていきたいかを考えさせた。

単元の最後の学習では、単元全体の振り返りとして、児童に「これから虫を見つけたらどうしたいか」と問うと、「大切にしたい」や「優しくつかまえて、ちがう虫をお世話してみたい」などの思いを発表していた。